

授業科目名・形態	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	岩間 薫・山下 梓	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

ジェンダー概念に関連する諸事象を歴史的視点から学び、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念・意義等を国際的視点から捉えながら、セクシュアリティとジェンダー、医療・看護とセクシュアリティ、女性の健康問題・社会問題等について理解する。さらに、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの実現に向けて考察し、行動することができるための知識を身に付ける。

【到達目標】

1. ジェンダーと人権に関わる問題について理解する。
2. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの意味・概念を理解し、問題点を見出すことができる。
3. 医療現場、看護におけるセクシュアリティに関わる問題について理解する。

【授業計画・内容】

第1回	ジェンダー、セクシュアル&リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (SRHR) と人権 (山下 梓)	
第2回	カイロ・北京会議、MDGs・SDGs と SRHR (山下 梓)	
第3回	ジェンダー、暴力と SRHR (山下 梓)	
第4回	インターセクショナルリティと SRHR (山下 梓)	
第5回	グローバル視点からみるプライマリケア提供者のコアコンピテンシー (山下 梓)	
第6回	ライフライン (人生設計)	(岩間 薫)
第7回	リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは	(岩間 薫)
第8回	性の健康とは	(岩間 薫)
第9回	人間の性とは	(岩間 薫)
第10回	医療・看護とセクシュアリティ	(岩間 薫)
第11回	リプロダクティブ・ヘルスを阻害する問題①	(岩間 薫)
第12回	リプロダクティブ・ヘルスを阻害する問題②	(岩間 薫)
第13回	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ確立に向けて①	(岩間 薫)
第14回	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ確立に向けて②	(岩間 薫)
第15回	まとめ	(岩間 薫)

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。グループワークによる資料作成・発表も行う。

【授業準備】

授業の中で取り上げられた問題については、次回の授業までに現実に起きている問題として確認しておくこと。

【主な関連する科目】

次世代育成ケア論、母性看護学概論、母性看護方法論、母性看護学実習、助産科目

【教科書等】

資料を配付

【参考文献】

適宜提示

【成績評価方法】

筆記試験 60%、レポート課題 30%、授業への取り組み姿勢・グループワークの発表内容等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

国立大学医学部附属病院で助産師として産婦人科病棟や外来において母性各期にある女性や妊産褥婦およびその家族への対応や看護等の実務経験あり。

実務経験から得た助産師としての知識や技術を医療・看護とセクシュアリティ、女性の健康問題・社会問題等について授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

医療従事者になることを目指している皆さん。社会で起きている性に関する健康問題、セクシュアリティについて一緒に考えてみませんか？

*助産師に興味のある人、助産師になりたいと思っている人は、必ず履修してください。